

平成24年度 笠田高校海外ファームステイ研修

1. 研修目的：① 現地の気候、環境、作物の種類、収穫状況など海外の農業について体験を通して学ぶ。  
② 現地の人々の食べ物、調理法、服装など衣食住について広く学ぶ。  
③ ホームステイを通じて、異文化を体験し自己の見聞を広めると共に、帰国後、自分の得た知識・経験を他の生徒と共有する。
2. 研修場所：カナダ オンタリオ州 セントキャサリンズ（ナイアガラ瀑布の近く）
3. 研修期間：平成24年7月24日（火）～ 8月2日（木） 8泊10日
4. 研修費用：316,000円（同窓会より一人200,000円の補助あり。）

研修費用に含まれる内容

- 航空運賃 日本からトロントまでの往復航空機(エコノミー)費用(燃油サーチャージャー込)
- 生徒宿泊料金 ホームステイ8泊(生徒2名 1ホームステイファミリー)
- 生徒食事料金 3食付
- 手荷物料金 お一人様につき20Kg以内
- 渡航取扱手数料 出国手続き書類作成案内（作成の場合には費用は、別途かかります）
- 引率者同行費用 研修期間中同行費(ホームステイ代、食事代含)
- 保険 学校旅行総合保険(株式会社損保ジャパン/ 死亡時1,000万円補償)
- その他 現地空港税・他諸税・日本国内空港施設使用料・燃油特別付加運賃

研修費用に含まれない内容

- 交通費 国内交通費用
- 食事料金 個人的な食事の飲み物代など
- 超過手荷物料金 お一人様につき20Kgを超えるもの
- 保険 任意でおかけの海外旅行保険
- その他 洗濯代・電気料金などの個人的支出

5. 募集人数：5名（現1, 2年の農業科・家庭科の生徒を対象とする。）

※参加希望者が5名を超えた場合は、校内選考を行う。

6. 引率者：日本人の同行員兼通訳が、香川県から同行する。
7. その他：参加者に月1回(3時間)の英語の事前指導を3回実施予定。

## 8. 日 程

	日 程		時 間	内 容
1	7月24日	火		関西国際空港(もしくは伊丹空港)発(時間、航空会社未定、経由便)
				トロント空港(もしくはバッファロー空港)着、バスにてセントキャサリンズへ移動
				ホストファミリーと対面
2	7月25日	水	9:00 AM	各ホームステイ先の見学、農作業
			1:00 PM	野菜/果樹栽培農家訪問
			5:00 PM	各ホースステイ先に帰着
3	7月26日	木	9:00 AM	各ホームステイ先にて農作業
			2:00 PM	現地のスーパーマーケット見学、農機具メーカー訪問
			5:00 PM	各ホームステイ先に帰着
4	7月27日	金	9:00 AM	各ホームステイ先にて農作業
			1:30 PM	農業研究機関訪問
			3:00 PM	花卉栽培農家訪問
			5:00 PM	各ホームステイ先に帰着
5	7月28日	土		ホストファミリーと過ごす週末(ナイアガラの滝見学等)
6	7月29日	日		ホストファミリーと過ごす週末
7	7月30日	月	9:00 AM	各ホームステイ先にて農作業
			1:30 PM	大学訪問、施設見学
			5:00 PM	各ホームステイ先に帰着
8	7月31日	火	9:00 AM	各ホームステイ先にて農作業
			1:00 PM	セントキャサリンズ市内、メープルシロップ工場見学
			5:00 PM	各ホームステイ先に帰着
9	8月1日	水		トロント空港(もしくはバッファロー空港)発(時間、航空会社未定、経由便)
10	8月2日	木		関西国際空港(もしくは伊丹空港)着

\*2011年12月現在の予定

### 訪問予定先

- ナイアガラ大学 園芸を専門に学ぶ学科のある大学を訪問し、学習内容や学内にある畑や温室等を見学する。
- ブドウ栽培調査改善センター グラフ大学とオンタリオ州が共同設立した公的研究機関で、農業に関する調査や研究、生産者 / 消費者に対するセミナー等を開催している。研究施設等を見学する。
- 花卉栽培農家 温室で栽培されている多様な花卉、出荷プロセス、販売所等を見学する。

(参考資料) セントキャサリンズ市は、カナダで12番目に人口の多い都市である。ブドウ栽培ではカナダ最古の地で、45以上のワイナリーがある。温室栽培が盛んで200以上の温室がある。パラ園は、8haと2.5haの2カ所ある。また、オンタリオ州は、生産効率の高い作物や酪農が中心で、カナダ国内の農産物シェアは、大豆90%、園芸・花卉65%、果樹50%、野菜類(じゃがいも別)40%である。